

アンビシャスクラブ（正・特別・サポーター）会員 殿

アンビシャスクラブ

T e l 011-200-4083

F a x 011-251-0840

e-mail ambitiousclub@sse.or.jp<http://www.sse.or.jp/>

第 80 回アンビシャスランチ（昼食会）開催のご案内

アンビシャスクラブでは、7月29日（金）に、大和証券株式会社 投資信託部ファンド開発課 副部長 田中 秀一郎 氏をゲストにお迎えし、下記の通りアンビシャスランチを開催いたします。

是非ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

【日 時】：平成 23 年 7 月 29 日（金）11：30～13：00

【場 所】：札幌証券取引所 4 階会議室

（札幌市中央区南 1 条西 5 丁目 TEL011-241-6171）

【テーマ】：「大和マイクロファイナンス・ファンドが開く私的公益資本形成の可能性」

【講 師】：大和証券株式会社 投資信託部ファンド開発課 副部長 田中 秀一郎 氏

【参加費】：2,000 円（昼食・コーヒー・講師謝礼）

今回のテーマについて（概要）

大和マイクロファイナンス・ファンドは、世界のマイクロファイナンス機関に対して現地通貨建融資を行うという世界的に見ても稀有な商品性を持つファンドである。これは、途上国のマイクロファイナンス機関が従来負担してきた為替リスクをファンド側が負担するという高い社会的意義がある。しかしながら、当ファンドの意義はこれに留まらない。ファンドが事業に対し直接「融資」する、というスキームを日本の公募ファンドにおいて初めて実現したという意義の方が、むしろ大きいかもしれない。そのことが開く可能性について、震災復興や地域振興に関してお話をいただきます。

「私的公益資本形成」について下記 URL をご参照ください。

日経ビジネスオンライン

「やちよ経済構想」

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/money/20091020/207544/>

（無料登録後閲覧可能、「タナカ（仮称）」というペンネームを使用しています。）

以 上

参加申込書

・・・《FAX 011-241-6170 アンビシャスクラブ事務局行き》・・・

御社名 _____

役職名 _____

TEL _____

ご芳名 _____

FAX _____

講師略歴

大和証券株式会社投資信託部ファンド開発課

1965 年千葉県生まれ。都立小笠原高等学校、立教大学法学部を卒業後、平成元年に大和証券投資信託委託株式会社に入社。

大和総研投信評価研究所を経て現職。

大和証券で取り扱う新商品の企画推進が主業務。過去の主な企画ファンドは「WTI 原油先物ファンド」「ツインアクセル」シリーズ、「ダイワ・エコ・ファンド」「ラッセル世界環境テクノロジー・ファンド」「大和マイクロファイナンス・ファンド」など、業界初スキームを多く手がける。累計設定額は2兆円を越える。

他に社団法人投資信託協会の委員会委員を複数勤める。

プライベートには長野 NPO 夢バンク理事、前長野県 NPO センター理事など。主に環境保護運動中心に市民活動にも多く関わってきた。

‘96 年以降、地球温暖化問題の認知度を上げるための非対立型アピール「レインボーパレード」を発起、6万人を超える参加者を得た。

小笠原テクノスーパーライナー計画も発案（運輸省（当時）、三井造船と協働）。

執筆活動には日経ビジネスオンライン上における連載「やちよ経済構想」「やちよ文明構想」「オルタナティブ政治経済研究所」がある。

（現在も閲覧可）